

暮らしの風景を育む活動 2026年度 募集

受賞団体に 年30万円×3年

※受賞団体には、30万円(1団体・1年あたり)を3年間、維持管理活動の推進のために支援します

人生100年時代を見据え、
世代を超えて集い・支え合う



2025年度 国土交通大臣賞
特定非営利活動法人きやまSGK(佐賀県三養基郡基山町)

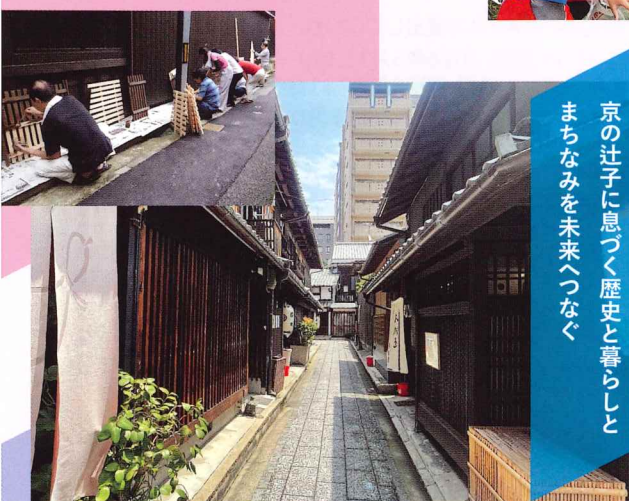


2025年度 住まいのまちなみ賞 みどり坂町内会(広島県広島市安芸区)

緑と空に抱かれたまちで、
子供たちとともに未来を育む

たくさんの物語がまちを彩る

京の辻子に息づく歴史と暮らしと
まちなみを未来へつなぐ



2025年度 住まいのまちなみ賞 蕎麦辻子まちづくり協議会(京都府京都市下京区)

新たな文化へと編み直す
まちに刻まれた記憶をひもとき、



2025年度 住まいのまちなみ賞 6コア自治会(広島県広島市中区)

ゆるやかにつながっていく
里山を育て、囲み、人と自然を



2025年度 住まいのまちなみ賞 つなく森みらい平自治会(茨城県つくばみらい市)

国土交通省 まちづくり月間関連表彰 第22回 住まいの まちなみ コンクール

【表彰】国土交通大臣賞1点、住まいのまちなみ賞数点を選定予定。

【募集対象】良好な景観が形成されている、もしくは形成の過程にある一体的な住宅地において、住まいのまちなみの維持管理活動を行っている団体を対象とします。一部抜粋 各種の社会的課題に対応した先進的なまちなみづくりの活動を行っている場合には、当該活動も評価します。なお、戸建て住宅に限らず、集合住宅等の住宅地で活動している団体も対象となります。(団体の例としては、町内会、自治会、管理組合、建築協定等に基づく運営委員会、地域NPO法人などが挙げられます。)

【審査委員会】審査委員長 大月敏雄(東京大学教授)
五十音順 審査委員 岡田昭人(まちづくりプランナー)、齊木崇人(神戸芸術工科大学名誉教授)、坂井文(京都市大学教授)、森まゆみ(作家・編集者)、
国土交通省大臣官房技術審議官(都市局担当)(予定)、国土交通省大臣官房審議官(住宅局担当)(予定)

主催 一般財団法人住宅生産振興財団

後援(予定) 国土交通省、独立行政法人住宅金融支援機構、独立行政法人都市再生機構、一般社団法人住宅生産団体連合会、公益社団法人日本建築士会連合会、一般社団法人日本建築士事務所協会連合会、一般財団法人ハウジングアンドコミュニティ財団

協賛 旭化成ホームズ、スウェーデンハウス、住友林業、積水化学工業、積水ハウス、大和ハウス工業、トヨタホーム、パナソニックホームズ、ミサワホーム、三井ホーム(株式会社を省略、五十音順)

エントリー期間

2026.5.1[金] → 7.15[水]

募集対象・応募図書・受賞事例など、詳しくはホームページをご覧ください

まちなみコンクール 検索

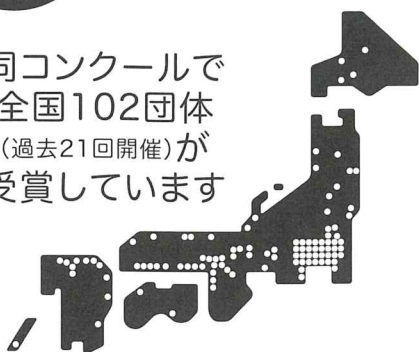
<https://www.machinami.or.jp/>



昨年度の受賞団体の表彰式と事例発表等を2026年7月10日(金)に行います。詳しくは、6月頃に財団ホームページでご案内する予定です。応募図書提出締切7.31[金]

2026年度
第22回

住まいのまちなみコンクール

同コンクールで
全国102団体
(過去21回開催)が
受賞しています

エントリー期間

2026.5.1[金]→7.15[水] 応募図書提出締切 7.31[金]

暮らしの風景を育む活動を募集します

まちなみの形成には 地域の方々による 継続的な維持管理 運営

コミュニティの形成等の多様な取り組みが必要となります

住まいのまちなみコンクールは このような活動に取り組む住民組織の皆さまをまちづくりの

モデルとして表彰し支援するとともに これらの取り組みを各地でまちなみ形成に取り組む方々に

広く情報提供し 活動の一助としていただくことを目的としています

募集対象

1. 良好な景観が形成されている、もしくは形成の過程にある一体的な住宅地において、住まいのまちなみの維持管理活動を行っている団体を対象とします。各種の社会的課題に対応した先進的なまちなみづくりの活動を行っている場合には、当該活動も評価します。
ただし、伝統的建造物群保存地区内の住宅地は、除きます。なお、維持管理対象の住宅地の住宅は、戸建て住宅に限らず、集合住宅等も可です。

2. 対象となる団体は、次の両方に該当するものとします。

ア. 地域の維持管理活動を行っている団体であること。

イ. 地域の活動の根拠となる規約などが文書化されていること。

(団体の例としては、町内会、自治会、管理組合、建築協定等に基づく運営委員会、地域NPO法人などが挙げられます。なお、法人格の有無は問いません。)

選考方法

提出図書をもとに、審査委員会において選考します。

なお、必要に応じて追加資料等の提出要請、現地調査を行う場合があります。

選考の主なポイント

次に掲げる取り組み等を特に評価します。

ア. まちなみに関する取り組み内容等

- ・維持管理している住宅地が、住まいの美しいまちなみ景観を有している
- ・継続的な景観維持活動を通じ、景観を育て、より成熟させている
- ・建築協定など、まちなみのルールを有している
- ・まちづくりにおける社会的課題に取り組んでいる

(社会的課題への取り組みの例としては、活力の低下が見られる街の再生、脱炭素、防災、高齢化対応、子育て支援、空き家・空き地の利活用、住み替え支援、農ある暮らし等が挙げられます)

イ. 取り組みの体制

- ・多人数によるまちなみの維持管理活動が行われている
- ・多世代による取り組み、対象住宅地の外に住まわれている方との協働、複数の団体による協働等が行われている

ウ. 取り組みに関する期間

- ・一定期間継続してまちなみの維持管理活動が行われている

エ. 他地域に対するモデル性

- ・取り組みの内容等が、他地域で同様の課題に取り組んでいる団体のモデルになりうると認められる

応募方法 (詳しくは当財団HPをご覧ください。)

1. 提出様式…エントリー・応募図書の様式は当財団のHPからダウンロードしてください。

2. 提出方法…郵送またはメールで提出してください。

3. 提出締切…エントリー期間: 2026年5月1日(金)~2026年7月15日(水)
応募図書提出締切: 2026年7月31日(金)

※個人情報について…応募者の個人情報は、運営に必要な範囲外の目的には使用いたしません。

維持管理活動の支援

1. 支援方法 受賞決定後、受賞者と内容を協議の上、維持管理活動の推進費用として30万円(1団体・1年あたり)を3年間支援いたします。
維持管理の向上に関する団体活動等に充当してください。

2. 報告書の提出 所定の様式で報告書を提出していただきます。
報告していただいた内容は公開します。

3. まちネット これまでの受賞団体等をメンバーとして「すまいのまちなみネットワーク(まちネット)」として活動しています。
お互いの活動の紹介等、情報交換や親睦を図っています。
受賞団体には、本会への参加をお願いしています。

4. その他 活動状況の紹介等を行う場合にはご協力ください。

選考結果の発表

2027年1月に、応募者へ書面にて通知するほか当財団のHPにて公開します。

応募図書送付先[郵送またはメール]・問い合わせ先

応募に際してご不明な点等があれば、下記事務局までご連絡ください。

一般財団法人住宅生産振興財団内 住まいのまちなみコンクール事務局
担当 / 原田・石川

〒105-0001東京都港区虎ノ門3-11-15 SVAX TTビル5階
TEL 03-5733-6733 FAX 03-5733-6736
Email/contest@machinami.or.jp



住宅生産振興財団ホームページ

<https://www.machinami.or.jp>

まちなみコンクール

検索

2025年度 第21回「住まいのまちなみコンクール」受賞団体紹介

【国土交通大臣賞】

特定非営利活動法人

きやまSGK(佐賀県三養基郡基山町)

60.2ha/戸建1300戸、集合118戸/
NPO法人

佐賀県東端、福岡都市圏ベッドタウンに広がる戸建て中心の住宅地。駅前交流プラザを起点に、英語教室や子供の居場所づくり、訪問介護事業、無人駅の運営受託など住民組織が一丸となり幅広く活動。成熟する住宅地のモデル的活動として高く評価された。

【住まいのまちなみ賞】

膏薬辻子まちづくり協議会

(京都府京都市下京区)

0.7ha/戸建28戸、中高層ビル4件/
まちづくり協議会

平安京由来の細街路(辻子)を挟む街区の住宅地。四条通に面する好立地に高層化が迫る中、住民や事業者と粘り強く合意形成を図り、地区計画を策定。三項道路指定など開発と歴史的景観の新たな折り合いを通じ、京のまちの伝統を守っている。

【住まいのまちなみ賞】

つなぐ森みらい平自治会

(茨城県つくばみらい市)

1.95ha/戸建67戸/自治会

住宅地中央に設けた3000㎡の雑木林(里山)の共有地と、その周りに里山と共生する戸建て住宅地。住民がイベントで積極的に交流を深め、近所に配慮した里山利用のルールも蓄積。今後は里山の成熟に伴う課題への挑戦にも期待。

【住まいのまちなみ賞】

みどり坂町内会

(広島県広島市安芸区)

121ha/戸建2220戸、集合65戸/
町内会

1990年代に、山陽道の北側にある斜面を開発した戸建て住宅地。「スカイレール」の廃線を機に住民の結束がより高まり、子供たちとともに「花の溢れるまち」への取り組み、防災キャンプなどを開始。今後はスカイレール跡地利用の展開にも期待。

【住まいのまちなみ賞】

6コア自治会

(広島県広島市中区)

9.38ha/集合3341戸/自治会

原爆被災者の集住地区改良事業として建設された、日本最初期の超高層公営住宅。多世代・多国籍の都心型環境へと移行する中、コア(EV)単位の自治会では20歳代の会長の誕生、大学との協働による生活アーカイブ作成など、新たな活動領域の開拓を高く評価。